

ふくしま 子ども・女性医療支援センター

福島女性が安心して子どもを産み、育み、健康な一生を過ごせることをめざして



安心して子どもを産み、 育てられる福島県へ

福島県は、慢性的な医師不足や医師の偏在を解消するために、福島県立医科大学内に福島県地域医療支援センターを設置し、県内への医師定着を促進する事業を展開してまいりました。

しかしながら、本県の医療事情、とりわけ周産期医療は依然として厳しい状況下に置かれています。このような状況を打破するため、県の委託を受け、平成28年4月、福島県立医科大学に「ふくしま子ども・女性医療支援センター」が開設されました。

ふくしま子ども・女性医療支援センターは、「福島県に住む女性が安心して子どもを産み、育み、そして健康な一生を過ごすための医療支援を行う」ことを目的に設立された、全国的にも例のない only one の施設です。

小児科医、産婦人科医のエキスパートが県内医療機関の小児科・産婦人科の医療支援を行うとともに、妊娠の前段階から妊娠、出産、子どもの成長、女性の生涯にわたる健康を一貫して支え、子どもと女性の医療に携わる医師の養成を支援していきます。

福島県の小児科医療・産婦人科医療への センターの関わり

```
graph TD
    subgraph University [福島県立医科大学]
        P[小児科学講座]
        O[産科婦人科学講座]
    end
    P --> CM[こども医療センター]
    P --> CPM[総合周産期母子医療センター]
    O --> CM
    O --> CPM
    O --> RM[生殖医療センター]
    CM --> DM[地域医療支援]
    CPM --> DM
    RM --> DM
    DM --> FWSM[ふくしま子ども・女性医療支援センター]
    FWSM -- 強化 --> CM
    FWSM -- 強化 --> RM
```

福島の復興を 共に目指しませんか

センターでは、小児科医・産婦人科医及びこれらを目指す医師を募集しています。

待遇は資格・学位等により個別に協議いたします。詳しくはセンターまでお問い合わせください。

花見山【福島市】

写真家の故秋山庄太郎氏が「福島に桃源郷あり」と称した花の名所。マンサク、レンギョウ、ハナモモ、ウメなど四季折々の花が咲き誇り、サクラの頃には山全体がほんのりとピンク色に染まります。

2

しかしながら、本県の医療事情、とりわけ周産期医療は依然として厳しい状況下にあります。
このような状況を打破するため、県の委託を受け、平成 28 年 4 月、福島県立医科大学に「ふくしま子ども・女性医療支援センター」が開設されました。

ふくしま子ども・女性医療支援センターは、「福島県に住む女性が安心して子どもを産み、育み、そして健康な一生を過ごすための医療支援を行う」ことを目的に設立された、全国的にも例のない only one の施設です。

小児科医、産婦人科医のエキスパートが県内医療機関の小児科・産婦人科の医療支援を行うとともに、妊娠の前段階から妊娠、出産、子どもの成長、女性の生涯にわたる健康を一貫して支え、子どもと女性の医療に携わる医師の養成を支援していきます。

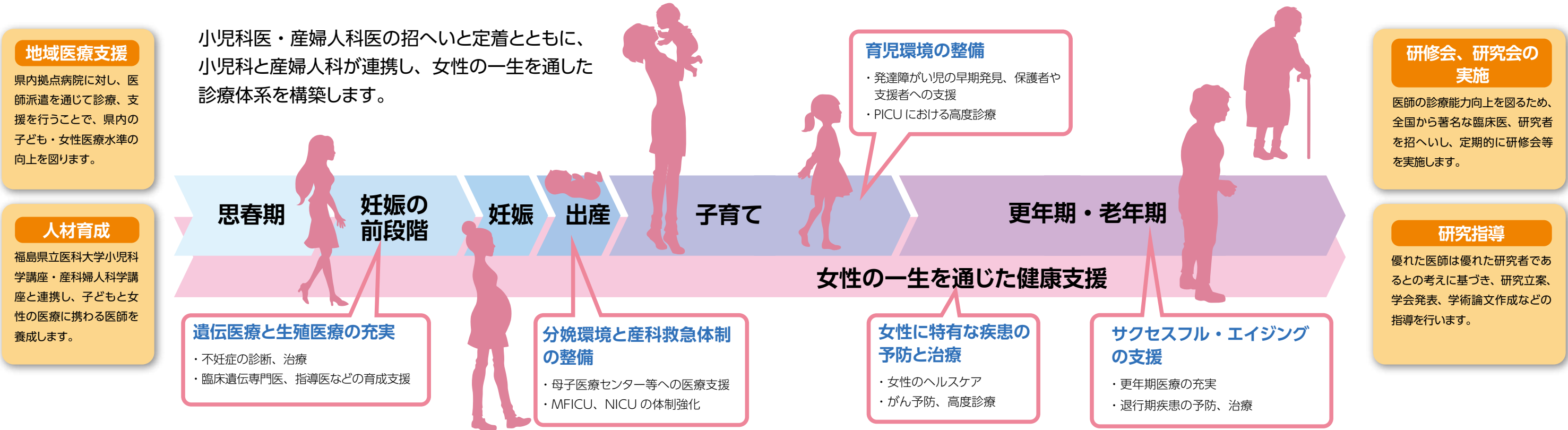
[illegible]

センターでは、小児科医・産婦人科医及びこれらを目指す医師を募集しています。

待遇は資格・学位等により個別に協議いたします。詳しくはセンターまでお問い合わせください。

写真家の故秋山庄太郎氏が「福島に桃源郷あり」と称した花の名所。マンサク、レンギョウ、ハナモモ、ウメなど四季折々の花が咲き誇り、サクラの頃には山全体がほんのりとピンク色に染まります。

福島県に住む女性が健康な一生を過ごすための医療支援をしながら、安心して子どもを産み、育てる環境をつくります



小児科学講座、産科婦人科学講座と連携し、優れた小児科医、産婦人科医の育成を支援します



センタースーパーバイザーおよび教員



吉村 泰典

福島県立医科大学副学長
ふくしま子ども・女性医療支援センター
スーパーバイザー
(非常勤)

■専門分野
生殖医学、周産期医学、生命倫理
■研究テーマ・成果
生殖生理学、再生医学、生殖内分泌、発生生物学
■主な学会活動
2007 年 日本産科婦人科学会理事長 (2011 年まで)
2010 年 日本生殖医学学会理事長 (2014 年まで)
2011 年 日本産科婦人科内視鏡学会理事長 (2015 年まで)
その他数多くの学会理事歴任
■主な社会活動
2013 年 一般社団法人吉村やすのり生命 (いのち) の環境
研究所代表理事
2013 年 内閣官房参与 (少子化対策・子育て支援担当)



水沼 英樹

センター長
(常勤)

■専門分野
女性医学、月経異常、更年期障害
■研究テーマ・成果
月経異常の治療法の開発に関する研究
骨粗鬆症の早期発見、早期治療に関する研究
安全性を指向したホルモン補充療法の研究
■主な学会活動
日本女性医学学会前理事長
その他複数の学会の理事歴任
■主な社会活動
日本医療研究開発機構女性の健康の包括的支援実用化研究事業
プログラムオフィサー



横山 浩之

教授
(常勤)

■専門分野
小児神経学
■研究テーマ・成果
子どもの行動異常 (発達障害、
精神障害) とそれに関わる教育・
保健・福祉との連携



高橋 俊文

教授
(常勤)

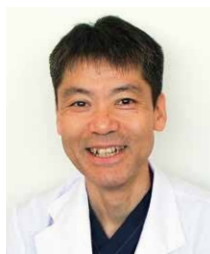
■専門分野
生殖医学
■研究テーマ・成果
不妊症の診断・治療
婦人科内視鏡下手術
卵子の老化に関する研究、
多嚢胞性卵巣症候群の診断・
治療に関する研究



西郡 秀和

教授
(常勤)

■専門分野
周産期医学、
遺伝カウンセリング
■研究テーマ・成果
周産期環境と子どもの神経発達に
関する研究、周産期メンタルヘル
スに関する研究



神保 正利

特任教授
(常勤)

■専門分野
周産期医学
■研究テーマ・成果
県外の大学産婦人科との連携シ
ステムの構築、災害時における
産科医療の教育システムの開発



太田 邦明

講師
(常勤)

■専門分野
生殖内分泌 (生殖医学・女性医学)、
生殖外科
■研究テーマ・成果
福島県内における放射線被曝と
生殖アウटकームに関する疫学的研究、
がん治療後患者への人工卵巣の
開発と移植技術の確立



福島 明宗 特任教授
(非常勤)

■専門分野
臨床遺伝学、周産期医学
■現勤務先
岩手医科大学医学部
臨床遺伝学科



清水 直樹 特任教授
(非常勤)

■専門分野
小児科学、救急医学、
集中治療医学、蘇生科学
■現勤務先
聖マリアンナ医科大学小児科学



鈴木 大輔 特任講師
(非常勤)

■専門分野
周産期救急、
婦人科内視鏡下手術
■現勤務先
白河厚生総合病院
産婦人科



磯部 真倫 特任講師
(非常勤)

■専門分野
婦人科腹腔鏡下手術、
婦人科腫瘍、医学教育
■現勤務先
新潟大学医学総合病院
産科婦人科



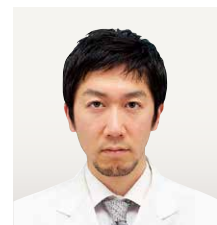
新津 健裕 特任講師
(非常勤)

■専門分野
集中治療医学、小児科学、
Critical Care Outreach
■現勤務先
埼玉県立小児医療センター
集中治療科



齊藤 修 特任講師
(非常勤)

■専門分野
集中治療医学、麻酔科学、
小児科学
■現勤務先
東京都立小児総合医療センター
集中治療科



荻原 重俊 特任助教
(非常勤)

■専門分野
集中治療医学、麻酔科学、
小児科学
■現勤務先
東京都立小児総合医療センター
集中治療科



秋山 類 特任助教
(非常勤)

■専門分野
集中治療医学、麻酔科学、
小児科学
■現勤務先
東京都立小児総合医療センター
集中治療科

センター教員の日常



水沼センター長

ホルモン補充療法 (HRT) 外
来を附属病院内に立ち上げ、性
差医療センター長で漢方療法が
専門の小宮ひろみ教授と一緒に
診療を行い、両療法の優劣を競っ
て (?) います。熱心に診療を見
学する後期研修医 (マスクの男
性)。



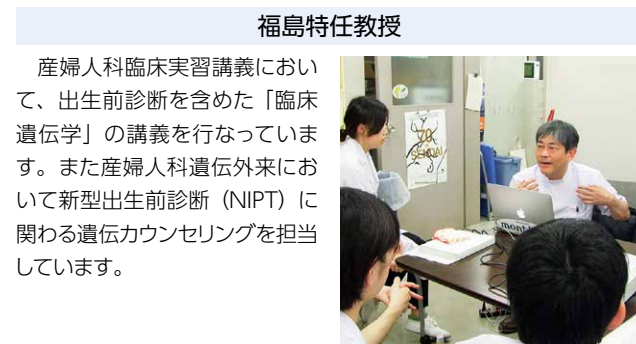
高橋教授

生殖医療センターで不妊外来、
産婦人科で新患外来を担当して
います。福島県で生殖内分泌領
域の臨床、研究と一緒にやってく
れる仲間を募集中です。ふくしま
からはじめよう生殖医療。



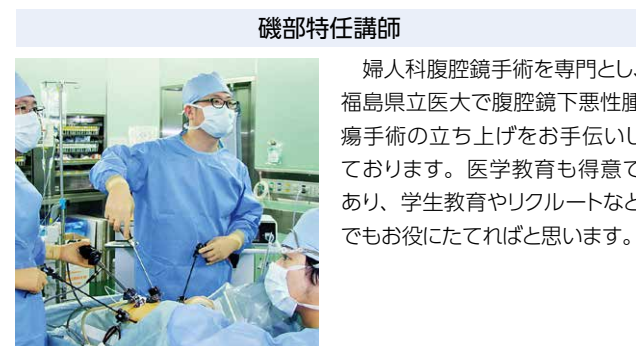
神保特任教授

産婦人科では週 1 日産科外来
を担当しています。また、分娩シ
ミュレーターと胎児ファントムを
使った超音波検査による学生講義
を行っています。その他、県内
医療機関において外来や当直支
援を行っています。



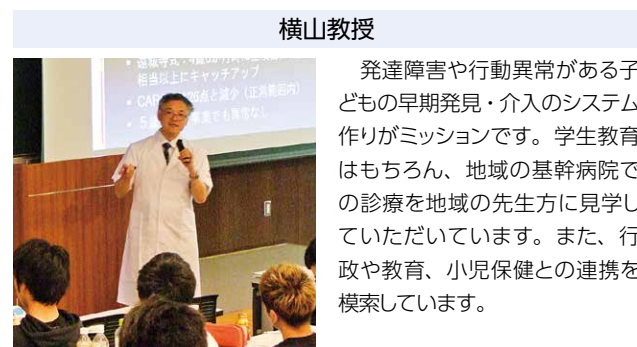
福島特任教授

産婦人科臨床実習講義におい
て、出生前診断を含めた「臨床
遺伝学」の講義を行なっていま
す。また産婦人科遺伝外来にお
いて新型出生前診断 (NIPT) に
関わる遺伝カウンセリングを担当
しています。



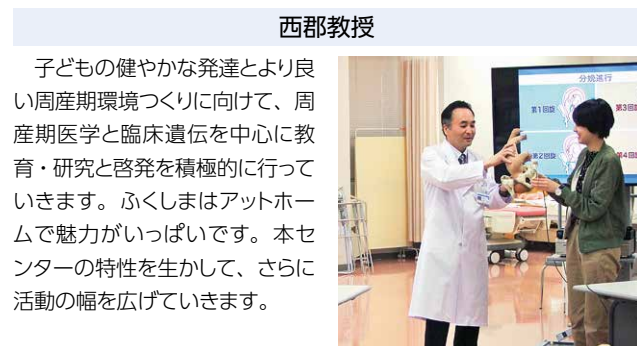
磯部特任講師

婦人科腹腔鏡手術を専門とし、
福島県立医大で腹腔鏡下悪性腫
瘍手術の立ち上げをお手伝いし
ております。医学教育も得意で
あり、学生教育やリクルートなど
でもお役にたてればと思います。



横山教授

発達障害や行動異常がある子
どもの早期発見・介入のシステ
ム作りがミッションです。学生教育
はもちろん、地域の基幹病院で
の診療を地域の先生方に見学し
ていただいています。また、行
政や教育、小児保健との連携を
模索しています。



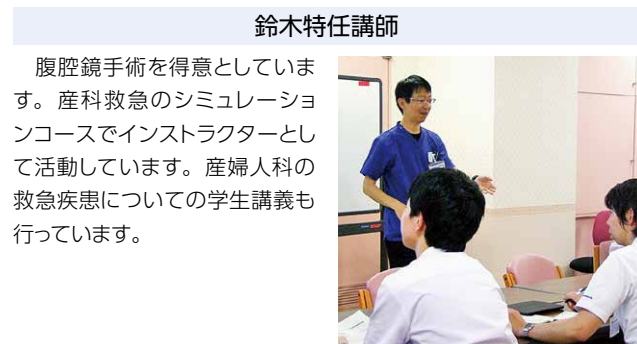
西郡教授

子どもの健やかな発達とより良
い周産期環境づくりに向けて、周
産期医学と臨床遺伝を中心に教
育・研究と啓発を積極的に行っ
ていきます。ふくしまはアットホ
ームで魅力がいっぱいです。本セ
ンターの特性を生かして、さらに
活動の幅を広げていきます。



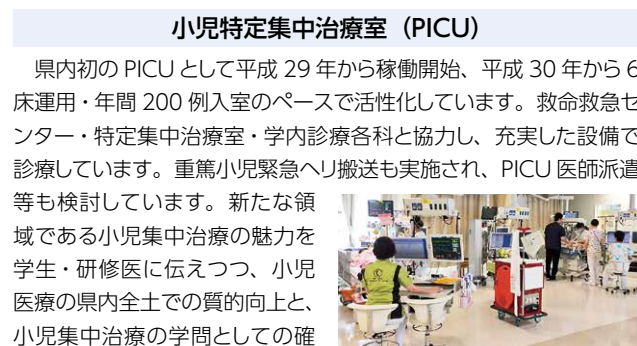
太田講師

本邦初の顕微受精を成功させた
“伝統ある”福島県立医科大学生殖医
療チームのメンバーに加わることが
できました。これまでの伝統の継承と新
たな伝統の構築を目指して研究活動
もしております。大都会で疲れた“あ
なた”、研究生活を充実させたい“あ
なた”、復興支援をしたい“あなた”、
私たちの仲間になりませんか。



鈴木特任講師

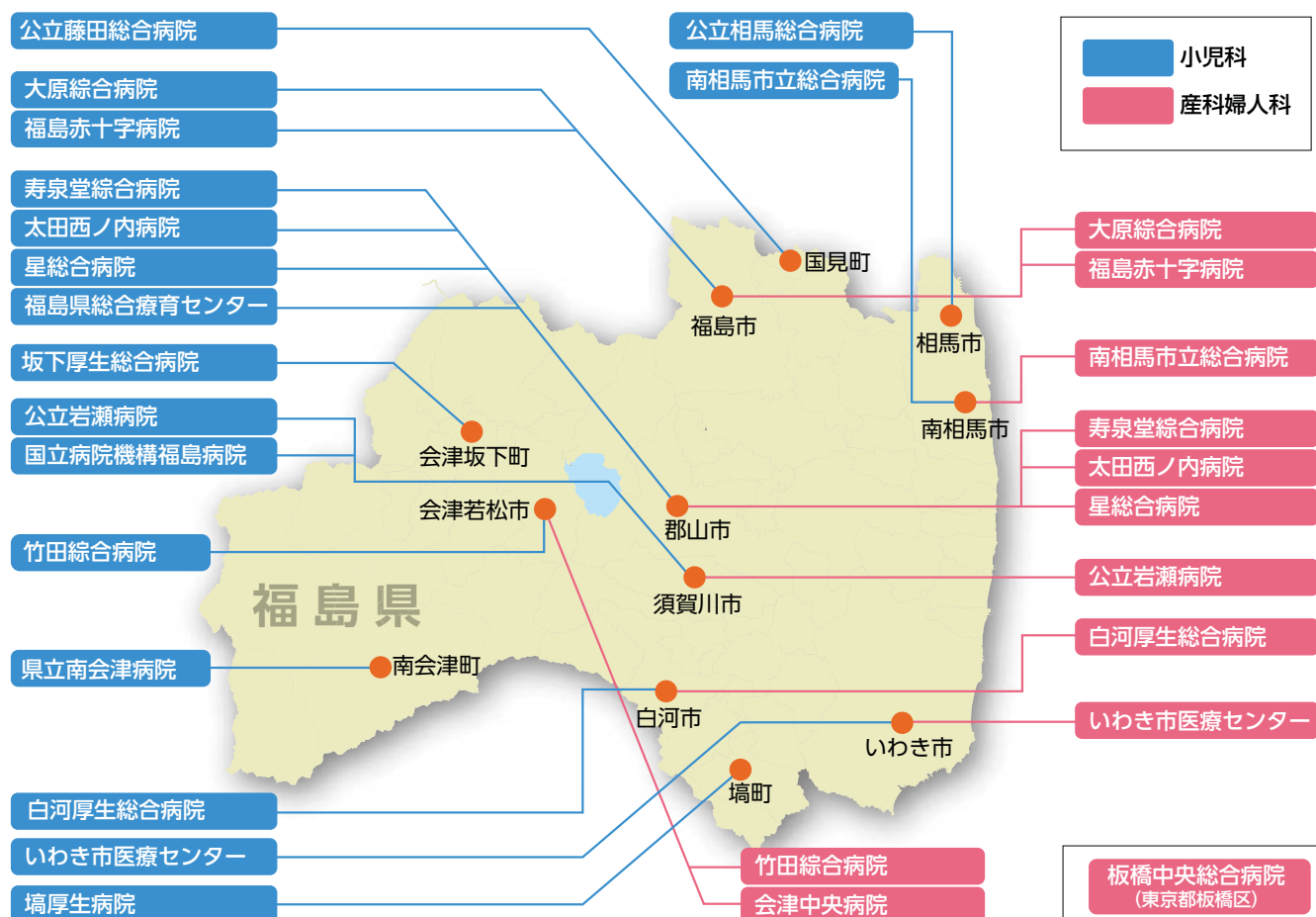
腹腔鏡手術を得意としていま
す。産科救急のシミュレーショ
ンコースでインストラクターとし
て活動しています。産婦人科の
救急疾患についての学生講義も
行っています。



小児特定集中治療室 (PICU)

県内初の PICU として平成 29 年から稼働開始、平成 30 年から 6
床運用・年間 200 例入室のペースで活性化しています。救命救急セ
ンター・特定集中治療室・学内診療各科と協力し、充実した設備で
診療しています。重篤小児緊急へリ搬送も実施され、PICU 医師派遣
等も検討しています。新たな領
域である小児集中治療の魅力
を学生・研修医に伝えつつ、小児
医療の県内全土での質的向上と、
小児集中治療の学問としての確
立を目指しています。

後期研修協力病院



福島県立医科大学附属病院では、 従来にも増して、子ども・女性医療に 力を入れていきます。

平成28年12月に「ふくしまいのちと未来のメディカルセンター棟（みらい棟）」が完成し、小児科、産婦人科関連診療科が集約され、こども医療センター、総合周産期母子医療センターを中心とした医療体制が整備されました。

また、この建物では国内最大規模のRI内用療法施設を備え、がんの早期発見、早期治療を行うほか、救急医療や災害・被ばく医療にも注力し、高度医療サービスの充実を図っていきます。



みらい棟 エントランスホール

壁画は、『草花が芽吹き、新しいいのちが生まれる春。キビタキの森でも長い冬が終わりを告げ、あたたかな春風が吹きはじめ、キビタキ達も春の訪れに喜び、森を飛びまわり、小鳥たちも自分で飛ぶのが上手になってきた。』そんな喜びに満ちた福島県の春の森の風景を表現しています。